

千葉県立図書館基本構想の概要

現状と課題

1 市町村への支援

- 市町村立図書館の整備促進
- 市町村立図書館における図書館サービスの充実

2 子どもの読書活動の推進

- 子どもの読書活動推進センター機能の強化
- 学校図書館の支援

3 知識基盤社会における地域の発展を支える情報拠点

- 調査研究の支援
- 図書館職員を対象とした研究の充実

4 千葉県関係資料の計画的な収集、提供、保存

- 関係機関との連携
- デジタル化と情報発信

5 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

- 電子書籍などの新たな図書館サービス
- 県内図書館間の物流ネットワークの強化
- 生活の場に届ける図書館サービス

6 書庫の狭隘化と資料の廃棄

- 県立図書館3館の収蔵能力
- 電子書籍の活用と資料のデジタル化

7 中央図書館の老朽化と耐震不足の問題

- 耐震改修と特殊な構造
- バリアフリー化の必要性

基本理念

知識・情報・技術が飛躍的に重要性を増す知識基盤社会において、暮らし満足度日本一を実現するため、光り輝く千葉県を目指す知の拠点として、中核的公立図書館の重要な役割を担います。

知識や情報の収集・発信の拠点として、豊かかつ幅広い図書館資料を整備して知の集積を図り、すべての県民が、生涯にわたり豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できるようにします。

自ら考え判断するための知識や情報を利用できるよう、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、人づくりや知の基盤づくりに貢献し、本県の経済・産業・文化・教育等の発展に寄与します。

役割と機能

1 県内図書館の中核としての役割

- 市町村の読書環境充実のための支援
 - 図書館ネットワークの充実 など
- 図書館職員の研修センター
 - 効果的な人材養成 など
- 県内図書館ネットワークの拠点
 - サービス改善のため、資料の搬送方法を再検討 など

2 子どもの読書活動の推進

- 子どもの読書活動の推進拠点
 - 子どもへの読書支援サービス拡充 など
- 学校図書館の支援
 - 公立図書館と学校図書館との連携 など

3 課題解決支援図書館

- 調査研究や政策形成の支援
 - 迅速な調査・情報支援 など
- 調査研究に役立つ資料の収集と情報の提供
 - 多様なニーズに応えられる環境整備 など

4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- 千葉県関係資料の計画的な収集の整備と情報発信
 - 県内の蔵書を一括して検索できるシステムの構築 など
- 貴重資料の保存
 - デジタル化を進め、利便性の向上や災害などによる消失への備え など

5 知の創造と循環を生み出す公共の場

- 博物館など関係機関との連携
 - MLA連携による文化的情報資源の活用 など
- すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設
 - 高齢者や視覚障害者などの読書活動・生涯学習活動の支援 など

施設整備の方向性

県立図書館の機能集約の検討

- 資料の集約による利用者サービスの向上
 - 3館に分散している資料を1館に集約し、ワンストップサービスを提供
- 人的資産（司書）の集約による図書館機能の強化
 - 3館に分散している司書を集約し課題解決支援などの図書館機能を強化
- 施設の集約による業務の効率化とコスト削減効果
 - 効率化による新たな図書館サービスへの期待
- 結論と機能集約後の留意点
 - 3館から1館に機能集約を図った上で図書館機能を高めていくことが適当
 - 地域の図書館ネットワークを損なうことがないよう留意し、県全体の図書館サービスを充実

施設整備の方向性

- 複合化の可能性
 - 施設総量の縮減や人件費削減などのコスト面での効果のみならず、MLA連携など相互連携による各施設の機能強化やサービス向上に期待
- バリアフリー
 - 高齢者や障害者等にとっての社会的障壁の除去について、必要かつ合理的な配慮を的確に行うための施設整備が必要
- 立地条件
 - 本県の文化を継承し支える知的基盤であり、行政情報を含めた多様な情報が集中する県中央部に整備することが考えられる。

中央図書館の施設整備に関する検討

- 県立図書館の役割を十分果たすため、専門知識と経験を持った司書の継続的な確保が必要
- 上記視点を踏まえた整備手法、民間活力の導入についての検討が必要
- 行動計画を策定し、評価と検証を行い、図書館サービスの向上に努める。